

第 28 期登山学校【地図読み】 レポート

1、机上講座ありがとうございました。

今回はグループ作業があり、互いに意見を述べ合い、徐々に仲間意識が高まり楽しく学べました。

地図読みは苦手でしたが、分かりやすい説明と各班のグループ発表で「なるほど」と納得し、登高線から山の起伏が把握でき、地図記号で登山道や分岐そして周辺景色が想像できることに驚きを感じ、地形図を読み解く知識を身に付けたい思いが高まりました。実技講座は欠席でしたので、実際にコンパスを振ること、地形図と実際に見たものをリンクすることが出来なかったのが残念です。次回もご指導宜しくお願い致します。H. T記

2、昨日はお世話になりました。ありがとうございました。昨日は朝から 30℃で日中は 35℃超えの猛暑で蒸し暑いスタート でした。少し歩いただけで滝のような汗がでてきました。軍畑駅から少し歩いたお寺の横から登山道に。登り始めは針葉樹のなかは日陰でしたが、風邪がなくサウナのようなようでしたが、うえの方へ登ると針葉樹の中に時折、風がふき涼しく感じました。途中、コンパスを振りながら方向を確認。見晴らしのよい地点では自分のいる場所をコンパスを使って調べる方向を教えてもらいました。

暑いのでルートが変更になり、途中、おしゃべりをしていると分岐を通り過ぎそうになってしまいハプニングもありましたが、班の皆様に助けて頂き楽しい山行でした。ただ、下山急な下りでは足がつったり、滑ったりと怖かったです。運営委員に助けてもらいながら、なんとか下山できました。体力のなさを実感して反省しました。

今日は夕方、接骨院で膝周りとおふくらはぎに電気をあててもらいました。左足の方が筋肉少ないのか、左足が痛みました。ストレッチやスクワットを日々の生活にとりこんで、膝が痛くならないようにトレーニングをと思います。「道に迷ったら登る！」を忘れずに日々精進して行きたいと思います。今後とも何卒、よろしく申し上げます。K. N記

3、本日は、地図読み山行ありがとうございました。

高水三山は、何度か行ったことがあります。登りも下りも、初めての破線ルートで、価値ある経験をすることができました。感想や振り返りを報告いたします。

- 暑さにより、体力は大幅に消費される。
- 特に低山は高度による気温低下は期待できず、また、樹林帯の日陰効果は期待できるが、逆に、風の通りが悪く、熱中症や脱水症状に陥りやすい。
- 風について、午前中は、風も比較的涼しく、体感温度も下がるが、午後になると、熱風になり、逆に体感温度は上がる。
- 鉄塔や電線などの人工物も、地図読みとして、参考にできる。雨裂のびっくりマークの点は、標高が低い方で、どちらか尾根か、即座にわかる。
- 地図を信じ切るのではなく、地形、植生、人工物など、複数の確認から、現在地を確認する。
- 常に地図は見ることはできないが、要所要所での確認と、次の確認ポイントまでの、大まかな地形などを、頭に入れて、現在地をある程度把握しながら、歩くことが重要である。
- 道迷いになったら、下ることはしない。尾根筋に出ることや、わかるところまで、引き返すことが大事である。
- 他班の反省から、まず、パーティはできるだけバラけず、固まって歩く、少なくとも、目視できる範囲内で歩く。もし、全体パーティから離れた場合は、電波の入る、尾根筋などで、リーダー、全体責任者との連絡を試みる。いろいろ、良い経験ができ、大変、勉強になりました。ありがとうございました。S. K記

4、こんばんは。

机上講義：地図記号や等高線の向きの読み方を知り、尾根や谷などの地形を想像することで登山計画がより深まり、自分の現在地を地図上で推測できるようになると、万が一の道迷いや遭難時にも安全安心度が高まると感じました。一番印象に残ったのは「道迷いや遭難したら、とにかく上に登る」です。早く下山したくてつい下を目指しそうなところ、山の裾野は搜索範囲も広く、崖や谷に転落の恐れもあり、迷ったら山頂を目指そうと思います。

実地：地図読みでは、なかなか自分の現在地を正確に測定できず、道を誤る場面がありました。地形の読み方や、自分の歩幅やペースと歩行距離の推測なども、もっと精度高くできるようになりたいと思いました。また、登山アプリも活用していきたいと思います。

当日は暑い山行で、下山時に道迷いした時には、暑さから早く下山したくて焦っていました。道迷いした際、運営委員から飲水の促しがありました。遭難したら、いったん飲水するというこの実践は、講義でも学んだ通り自分を見つめ直し冷静になるためにとっても大事なことだと感じました。自分の体力を知り体調を整えることや、余裕のある登山計画を立てること、気候も踏まえて山を選ぶことなど、大切なことだと思いました。A. N記

第 28 期登山学校【地図読み】 1 班記録

1 班記録 日程: 2024 年 7 月 7 日 (日)

場所: 高水三山

軍畑駅(8:53 出発) — ②物見山(10:08) — ③556 ピーク(10:43) —
④614 ピーク(11:14) — ⑤惣岳山(12:01-12:53) — ⑥馬仏山(13:13) —
544 ピーク(14:20) — 490.5 ピーク(15:00) — 軍畑駅(16:15)

本日は猛暑が心配され、途中予定変更の可能性もあるとの説明等の後、駅でストレッチを行い、1 班から順次スタート。

地図を確認しながら舗装道路をルートに従って進み、線路を渡って正面に神社を確認、神社左側から登山道へ進む。左手の 324 小ピークや送電線を確認しなかったが、針葉樹林に囲まれて見つけられなかった。進むうちに、木の間から徐々に送電線を確認することができ、途中の鉄塔の元で地図を正置し現在地の確認をする。再び登山道に戻り、尾根の合流地点や小ピークで地図の確認をしつつ惣岳山へ向かう。途中視界が開け、岩茸石山や高水山をきれいに見ることができた(これらも地図で確認)。昼食は予定していた岩茸石山ではなく惣岳山で摂った。昼休憩後は、予報通りの暑さのため、予定を変更し馬仏山へ行ってから惣岳山へ戻り、544 ピーク(丸山)を經由して沢井駅に降りるルートで下山することになった。

- ・少しの下りでも傾斜がきついと登って戻るのはとても大変
- ・迷ったら下へ行かず上へ(早速前日の講義を実践)
- ・一人だとパニックになり、冷静な判断ができなかったかもしれないが、同行者がいることで、それぞれが落ち着いて考えることができ、方針を決めることができた

低山も慎重に行動すべきだということを痛感した一日だった。 T. H 記

汗が滝のように流れる暑さでしたが、昼食後にルートを変更していただいたおかげで、体調不良者が出ることもなく、無事に山行が完了してよかったです。今回は地図読みでしたが、昨年も高水三山で地図通りに進むことが難しく、次回来ても同じコースを進めるだろうかと思ったのを覚えています。また今年も同じ気持ちで終わりことになりました。

今回の経験を心に刻み、今後は自分の地図に対する意識をもっと高め、安全な登山に努めていきたいと思えます。

今回も運営委員の皆さんには、ご準備どうもありがとうございました。

H. T 記

第 28 期登山学校【地図読み】 3 班記録

高水三山(惣岳山、岩茸石山、高水山)【地図の読み方】講座実技

日時:2024 年 7 月 7 日(日)

1 軍畑駅(スタート) 9:05 → ②小ピーク 10:20 → ③556 ピーク 10:50 → 4614
ピーク → 5 惣岳山 756 昼食 11:58----13:04 6 馬仏山 723 ピーク 13:27 ---
13:42 →

5 惣岳山 13:55 → 丸山 544 14:40----15:02 → 沢井駅着(ゴール)15:50

スタートの軍畑駅ではすでに気温が 30°C、湿度も高かった。じりじりとした陽射しが眩しく 酷暑になりそうだった。駅前でストレッチをし、コンパスを振る。班ごとに出発。3 班は最後の出発に。お寺の横から、一見では分かりにくい登山道に入る。両側針葉樹の細く薄暗い急な坂道を登る。歩くたびに滝のような汗がでた。風は少なく、蒸し暑い。サウナに入った感じで初めは体にきつく感じた。

途中、電線を確認。鉄塔にてコンパスを使い地図上の場所を確認した。小ピークにてコンパスを振る。進む方向を確認。尾根沿いの針葉樹の道は時より涼しい風が通り 快適だった。ウグイスやカッコウの鳴き声が聞こえると爽やかな気分になり足取りも軽くなった。班のメンバーと交代で先頭を歩いた。556 ピーク、614 ピークを過ぎ少し歩くと眺望が開けて景色が良いところにでた。今回一番の良い景色であった。北側は左手に岩茸石山、右手に高水山が見える。ここで、コンパスと地図を使い二つの山から 現在地を導き出す方法を小松さんから教わる。もし道迷いした時にこの方法が役立つように。11:58 惣岳山頂上に到着。予定より 20 分遅れであった。山頂は残念なことに眺望の良くない、神社がある。針葉樹の日影の広場で昼食をとった。40 分休憩。日中 35°C を超える予報で熱中症は危険もあり午後の岩茸石山と高水山に行くのを断念して ルート変更になった。午後は惣岳山から 723 ピーク馬仏山まで目指す。途中、眺望が良いが 723 ピークの眺めが いいわけではなかった。ここから惣岳山まで戻り、554 ピーク丸山に向った。丸山から少し 行くと三方向に別れる分岐があった。ここはおしゃべりしていると見逃してしまう程、分かりにくかった。この分岐が運命の別れ道となる。分岐の真ん中は道が沢井駅に行く変更したルートであった。なんとか分岐を進むと沢井駅までの急な下りを降りることに。整備された道ではないので急斜面を降りるのは初心者の中には苦行であった。班長と副班長は山の経験があり 難なく急坂を降りてゴールの沢井駅に到着。私は途中、滑ったり、左足がつったり、膝が痛かった。運営委員にお世話になり、やっと 15:50 沢井駅に到着できてほっとした。

駅前の公園に着くと、最後の到着で皆様をお待たせしているのではと気が重かったが、1班と2班の人たちはまだ山だった。急坂道前の最後の分岐で道迷いになるかは別れ道であったようだ。私には地図読みと下りのトレーニングをしなければと反省の多い山行であったが、終えてみると大変であったが、コンパスを振る練習になり、道迷いの参考になった。良い経験ができたと思います。皆様、色々とお世話になり、ありがとうございました。